

岩手県立久慈東高等学校

校長 高橋 克 壽
所在地 久慈市門前第 36 地割 10 番地
電 話 0194-53-4489

- 1 会議の名称
令和元年度岩手県立久慈東高等学校第 2 回学校評議員会
- 2 会議の構成
評議員 菊地 理 氏 畑田 照雄 氏 中村 ゆかり 氏
澤口 佳介 氏 井上 拓自 氏 (欠席)
教職員 高橋 克壽 (校長) 和田 秀雄 (副校長) 小林 祐子 (事務長)
平谷 成子 (総務主任) 北川 潤 (教務主任)
畠山 沙由利 (生徒指導課) 藤澤 大 (進路指導主事)
- 3 会議の目的
学校運営等について地域住民代表から幅広く意見を聞き、相互の意思疎通や協力関係を高め、地域社会に開かれた特色ある学校づくりをより一層推進する。
- 4 開催日時・場所
令和 2 年 2 月 14 日 (金) 15:30-17:00 [本校会議室]
- 5 会議の次第
 - (1) 開会
 - (2) 校長挨拶
 - (3) 学校概況説明・意見交換
 - ア 今年度の成果と課題 (総務課・教務課・生徒指導課・進路指導課・事務室)
 - イ 学校評価について
 - ウ その他
 - (4) 令和 2 年度評議員の委嘱および開催予定日について
 - (5) その他
 - (6) 閉会
- 6 要旨
 - (1) 開会
 - (2) 校長挨拶
日頃からのご理解とご協力をご感謝申し上げ、今年度の学校経営計画に打ち出した重点目標のそれぞれについて進捗状況を説明。
 - (3) 学校概況説明・意見交換
 - ア 今年度の成果と課題
 - 【総務課】
P T A および同窓会活動の活動報告と課題について説明。引き続き参加率の向上を目指して工夫する。地域連携の推進について、久慈秋祭りへの参加を継続する。学習成果発表会の開催方法を工夫して充実させる。ロータリークラブ会員による模擬面接も継続したい。
 - 【教務課】
生徒の出欠状況について、後期中間から大きく増加した。授業に関しては生徒参加型授業を進めている。成年年齢の引き下げに伴う主権者教育を今年度は本校教員で行った。保健指導等についてはこれからも父母等と連携して進めたい。
 - 【生徒指導課】
基本的な生活習慣の育成について、挨拶運動や整容点検を実施し成果が見られた。

いじめ防止対応として「いじめアンケート」を実施し早期発見早期対応に努めた。スマホ利用については「歩きスマホ」等の問題に対応しているところである。

【進路指導課】

就職希望者 78 名、全員内定。管内就職率はやや下がって 50 パーセントを割った。

進学について 4 年制大学 18 名、短大 13 名をはじめほとんどの生徒が合格している。人文自然系列以外からの進学が増えており、各系列での進学対策が必要。

【事務室】

工事・修繕関係では、男女トイレ各 1 カ所を洋式便所とした。また、視聴覚室にエアコンを設置した。危険木の伐採も実施した。備品購入では、学び希望基金を利用して業務用冷凍冷蔵庫やグラウンド整備用マットを購入した。

イ 学校評価について 副校長

概ね、肯定的評価が 80 パーセントを超えている。80 パーセントを切っている項目について以下内容を説明。

生徒評価では「生徒一人ひとりのことを考えながら指導している」「生徒に対して公平に接している」の 2 項目が 70% 台となっている。より時間をかけて生徒と丁寧に関わることが求められている。

保護者は全項目で 85% を超え、「子どもが東高校で高校生活を送っていることに満足している」という項目では 96% が肯定的評価をしている。

職員は「働きやすい雰囲気作りが図られている」「PDCA サイクルが機能し、諸課題への改善が迅速に進められている」の項目が 60% 台となっている。具体的内容を精査して対処改善していく。

< 質疑応答・意見感想 >

評議員： 生徒はよく頑張っている。職員も頑張っている。職員の自己評価が低いことに違和感を覚える。辛口評価だけでなく、自分に自信を持って魅力ある大人として生徒に背中を見せて欲しい。

評議員： 同窓会や PTA 総会への参加者が少ないのは中学校も同様。本日の説明は参考になった。いじめの認知が 2 件は非常に少ない。いじめ防止推進法どおりで認知するとどうしても多くなる。2 件の内容はどのようなものか。

職員： 1 件は SNS 関連のトラブル。もう 1 件は部活動内で先輩後輩間のトラブル。引き続き、いじめ防止教育と早期発見・早期対応に努めていじめ根絶を目指す。

評議員： 働き方改革は高校では具体的にどのようなことに取り組んでいるのか。

職員： 部活動の休養日を週 2 日確保する。年次休暇取得の推進などを進めている。業務のスクラップアンドビルドが必要だが、なかなか難しく苦慮している。時間外業務が 80 時間超の職員は校長面談、100 時間を超える職員は全員産業医と面談することとなっている。

評議員： 人を相手にする仕事では働き方改革は難しいと感じている。後回しにできない仕事がたくさんある。先生も頑張っている、生徒も頑張っている。更に頑張れるのはもしかしたら家庭の母親たちかもしれない。本来家庭で教育するようなことも学校は引き受けている。協力できるところは協力するように働きかけるので子どもたちのために一緒に頑張りたい。

急激に変化する予測困難なこれからの時代を生きていくためには子どもはもちろん大人もこれまでの成功モデルの模倣ではやっていけない。このことを生徒にわからせてもらいたい。総合学科という魅力的な学校で、ここ久慈で、一緒になって育てたい。

評議員： 同窓会の一員として卒業生に声かけをしてきた。人集めは難しい。さらに努力したい。学校評価については職員の評価が辛口なのであれば良いが、もしもモチベーションが低くなっているのであれば問題。保護者の満足度が 96% ということだが、共通質問項目である「進路指導」「いじめ対応」の両項目とも生

徒も職員も昨年度より評価が下がっている。教師が楽をするための働き方改革になることなく、下がった理由をしっかりと考えて対処して欲しい。

評議員： 前回第1回の評議員会で不登校気味の生徒が複数名いるということだったが、その後どうなっているか。

職員： 残念ながら、改善できず進路変更となった。

集団生活に対処することが困難な生徒にとってペアワークなどの「生徒参加型授業」が苦痛になる場面もあり、教科担任はペアや班の構成に配慮して進めている。別室指導をはじめ、生徒個々と接する機会を多くとりながら指導している。

ウ その他 特になし

(4) 令和2年度評議員の委嘱および開催予定日について

全評議員から来年度も評議員を継続していただくことに内諾を得た。(欠席の井上評議員は電話確認)

開催予定は、今年度と同様第1回を6月、第2回を2月に実施する予定。

(5) その他 なし

(6) 閉会